

## シリーズ「パートナーシップによるまちづくり」④

### 「大学地域連携モデルプロジェクト

#### ～昔のおもちゃで世代間交流～

9月19日（日）、女子美アートミュージアム（市内麻溝台）で、「昔のおもちゃで遊ぼう！」と題するワークショップが開催されました。この催しは相模原・町田大学地域連携方策研究会（代表：北里大学古矢学長室長）が進めている「モデルプロジェクト」の一つとして実施されました。

同研究会は、相模原・町田を中心としたエリアの大学、NPO、経済団体、行政から構成される組織で、平成14年度に実施した「大学と地域の連携に関する意識調査」の結果を踏まえ、効果的な大学情報の発信と、「モデルプロジェクト」の実施・検証による大学と地域の連携のあり方について研究を進めています。

今回のワークショップは、女子美アートミュージアムの「作家からの贈りもの」展の開催に併せて、同大学の学生グループ「アンテナ」の皆さんが「昔のおもちゃづくりを通じて様々な世代が交流し、コミュニケーションを図るきっかけになれば」という意図から、企画・実施したものです。



参加者した子どもたちは、白いお手玉に好きな絵を描いて「マイお手玉」を完成し、シルバータウン大野台ケアセンターのお年寄りから遊び方を教わりながら、一緒にお手玉遊びで交流を深めました。

この催しに協力してくださったお年寄りの方々は、「こどもたちの親もお手玉など昔の遊びを知らない世代かもしれないので、次回はもっといろいろな遊びを教えてあげたい」と意気込んでいました。

この催しに協力してくださったお年寄りの方々は、「こどもたちの親もお手玉など昔の遊びを知らない世代かもしれないので、次回はもっといろいろな遊びを教えてあげたい」と意気込んでいました。